

特定臨床指標5 【リハビリテーション部】

がん患者へのリハビリテーションの提供

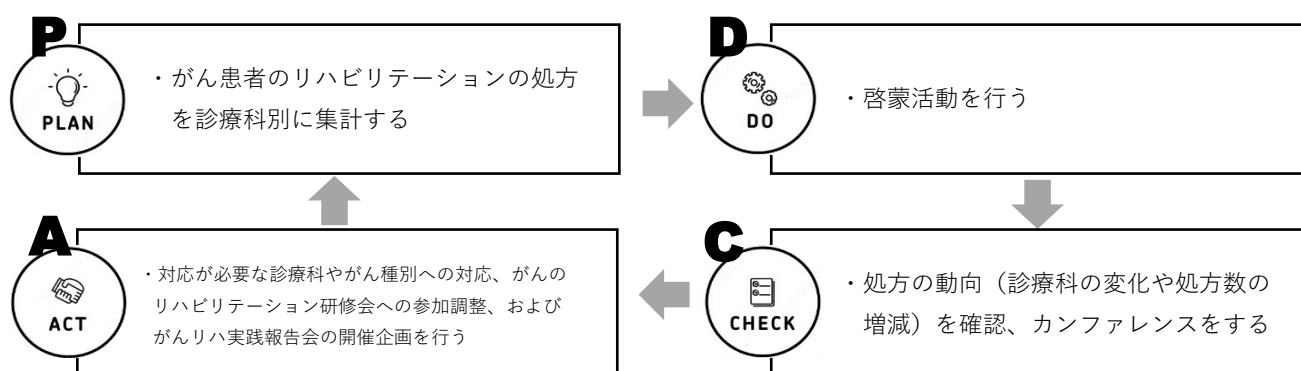
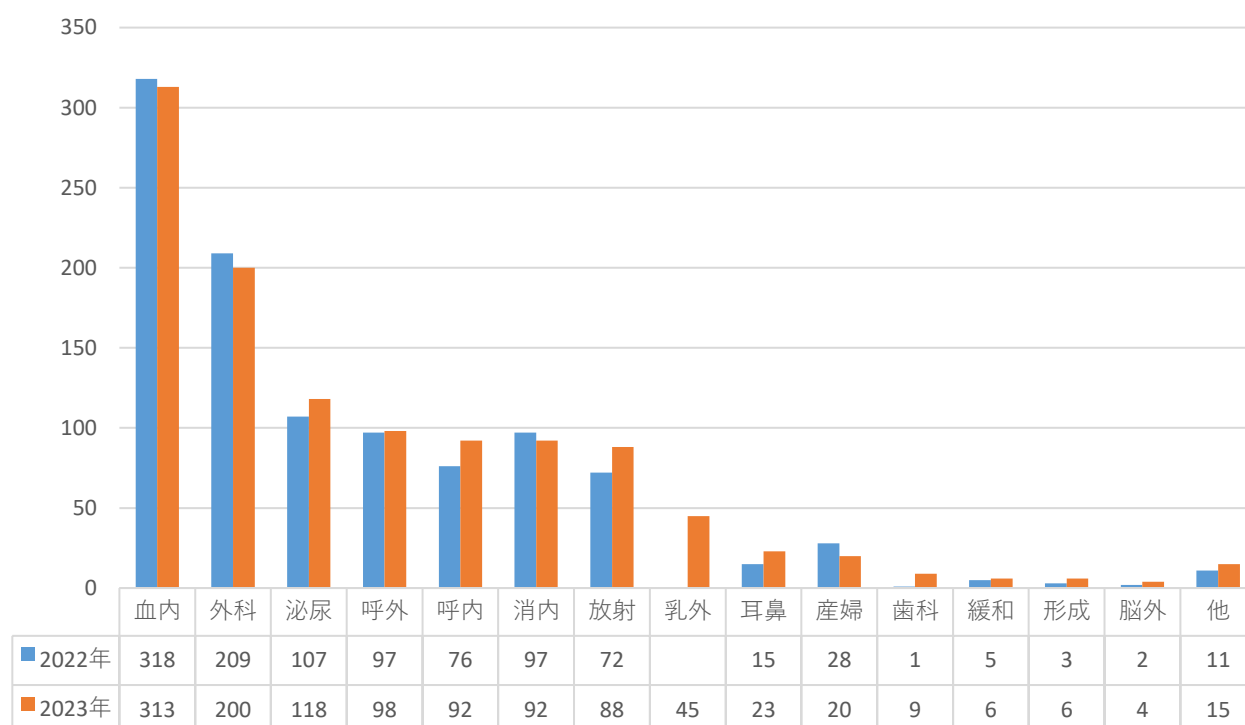


がん治療の目覚ましい進歩により、がんが“不治の病”であった時代も一昔前であり、今や“がんと共に生きる”時代です。

がんのリハビリテーションは、がんやがんの治療による体への影響に対する回復力を高めるほか、残っている体の能力を維持・向上させる効果が期待されます。また、通常のリハビリテーションは何らかの障がいがあった後に行われるのが一般的ですが、がんリハビリテーションはがん治療によって生じる障がいを防ぐことも重視されているため、各診療科の治療と並行して実施することが特徴です。

当院は地域がん診療拠点病院の指定を受けており、多岐に渡るがん患者さんの治療を行っています。医師や看護師、関係職種と医療チームを組み、多くの診療科におけるがん治療に合わせてリハビリテーションを提供しています。

がん患者へのリハビリテーション処方



■2024年度 実施内容と評価

実施内容

- ・がんリハの啓蒙活動を実施した。
- ・がんリハ研修会に血液内科（5西病棟）チームとして参加
- ・各病棟（診療科）でのケースカンファレンスの実施
- ・がんリハ実践報告会は未開催。作成した2024年度資料は、病棟への報告機会を検討中
- ・2025年度はがんリハ推進WGを発足し、課題整理や啓蒙活動を行っていく

評価

- ・がん患者のリハ処方の集計
診療科の傾向は変わらず、2023年度1129件、2024年1309件と約200件増加した
血内、泌尿器、消内、乳外、耳鼻が大きく増えていた
- ・各病棟（診療科）でのケースカンファレンスを継続